

全体的に ゆるやかに上昇

2010年度の業績は、売上高1,073億27百万円、営業利益22億75百万円。地上波放送事業は、レギュラー番組が低調だったものの大型特番やスポット企画が貢献。放送周辺事業は、通販やCS放送関連が好調。BS放送事業は放送収入等全体的に好調で、インターネット・モバイル事業は今後、上昇が期待されます。

事業セグメントと事業会社

地上波放送事業

- 株式会社テレビ東京

放送周辺事業

- 株式会社テレビ東京ミュージック
- 株式会社テレビ東京メディアネット
- 株式会社テレビ東京コマーシャル
- 株式会社テレビ東京アート
- 株式会社テレビ東京システム
- 株式会社テレビ東京制作
- 株式会社テレビ東京ダイレクト
- 株式会社テレビ東京ヒューマン
- 株式会社テクノマックス
- 株式会社テレビ東京建物
- 株式会社エー・ティー・エックス(AT-X)
- TV TOKYO AMERICA, INC.
- エフエムインターウェブ株式会社(InterFM)

BS放送事業

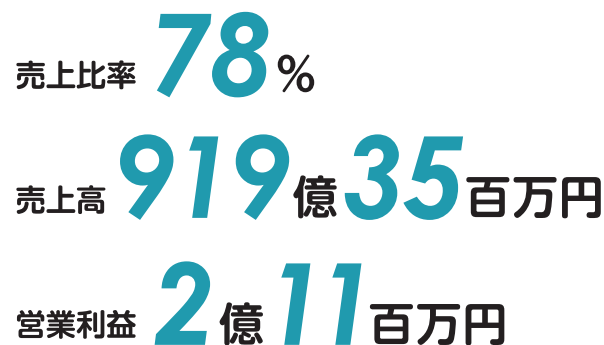
- 株式会社BSジャパン

インターネット・モバイル事業

- テレビ東京ブロードバンド株式会社

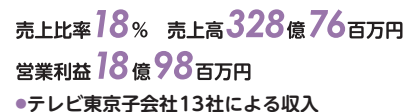
売上比率とその内容

地上波放送事業

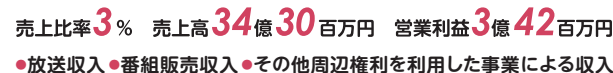


- 放送収入(タイム・スポット)
- 番組販売収入
- ソフトライツ収入
- イベント収入

放送周辺事業



BS放送事業



インターネット・モバイル事業



各事業セグメントの概況

地上波放送事業

放送収入のうちタイム収入は、年度を通してレギュラー番組の売上が減少し低調となったものの、サッカーW杯やスペシャルドラマなど大型特番のセールスが好調で、509億円となりました。スポット収入は、前年度後半から続く市況の回復基調に加え、様々な企画セールスが寄与し、231億3百万円となりました。

番組販売収入は「和風総本家」「だいすけ君が行く!!ポチたま新ペットの旅」、10月新番組「料理の怪人」等が順調だったものの、4月改編で「田舎に泊まろう!」「ペット大集合!ポチたま」等、ローカル局への売上が好調だった番組が終了したのに加え、東日本大震災の影響もあり、45億1千万円

モヤモヤ
さまあ〜ず2



イナズマイレブン



©LEVEL-5 / FCイナズマイレブン・テレビ東京



木下工務店カップ
フィギュアスケート
ジャパンオープン2010
3地域対抗戦

となりました。

ソフトライツ収入では、一般番組では「マジすか学園」「嬢王Virgin」「ゴッドタン」「モヤモヤさまぁ〜ず2」等のDVD販売や海外番組が堅調に推移。IT関連では「虎ノ門市場」「厳選・いい宿」、アニメ事業では「NARUTO」「遊戯王」「ポケットモンスター」の主力3番組の他「イナズマイレブン」等新番組が健闘したものの、全体としては国内外の不況を反映し低調でした。映画事業では配給収入がふるわず、ビデオグラムもDVD市況の冷え込み等が影響し低調で、全体としてソフトライツ収入は97億1千3百万円となりました。

イベント収入では、「スターズ・オン・アイス ジャパンツアー2010」「ジャパンオープン2010」「カーニバル・オン・アイス2010」等のスケートイベントが好調で、25億7千7百万円となりました。

Keyword 用語解説

タイム収入 タイムCM(原則30秒)による収入。タイムCMとは特定の番組を提供するCMのことで、広告主は番組の制作費・電波料を負担します。

スポット収入 スポットCM(原則15秒)による収入。スポットCMとは番組と番組の間に放送するCMのことです。

番組販売収入 番組を他の放送局に販売することで得られる収入。系列局以外にも番組を販売しており、系列ネットワー

クがカバーする地域外でもテレビ東京の番組は視聴されています。

ソフトライツ収入 放送番組のビデオ化や海外販売、出版化、ゲーム化等、放送番組の周辺権利を利用して収益を上げる事業や、IT関連、アニメ、映画関連事業が含まれます。

イベント収入 スポーツ競技や文化イベントの主催等により収益を上げる事業。

放送周辺事業

通信販売関連では「7スタBratch!」「ものスタMOVE」が牽引し、好調に推移。**テレビ東京ダイレクトの売上高は84億9千3百万円と過去最高となりました。**CS放送関連では、**エー・ティ・エックスの加入件数が11月末時点で13万件を突破、売上高は40億8千6百万円となり、過去最高を記録。**以上の結果、放送周辺事業の売上高は328億7千6百万円、営業利益は18億9千8百万円となりました。



7スタBratch!

BS放送事業

放送収入は、**通販番組を含むレギュラー番組、タイム収入、スポット収入ともに好調。**番組販売収入は、スピンオフ企画「だいすけ君が行く!! ポチたま新ペットの旅」「鑑定団が3倍面白くなる! 目からウロコの骨董塾」等のローカル局への売上が好調。一方、「MADE IN BS JAPAN」等のレギュラー番組の開始で番組制作費が増加。以上の結果、BS放送事業の売上高は34億3千万円、営業利益は3億4千2百万円となりました。



だいすけ君が行く!!
ポチたま新ペットの旅

インターネット・モバイル事業

インターネット・モバイル事業では、携帯サイト「てれともばいる」でのBS日本のコンテンツ配信、テレビ東京HPの基盤強化に向けた体制整備等、グループ間の連携強化とともに、**「スヌーピー」等を中心にスマートフォン・SNS対応に注力。**映画「チェブラーシカ」のキャンペーンサイトの受託やスヌーピーを起用したデジタルカメラの企画・販売等、受託型事業、EC事業も堅調に推移。以上の結果、インターネット・モバイル事業の売上高は11億5千9百万円、営業利益は8千1百万円となりました。



てれともばいる



スヌーピー

©2011 Peanuts Worldwide LLC